



和訳文

BNP パリバ・グループ

2009年度決算報告書

2009年度：強靱な利益創出力を証明

	2009年度	前年度比
営業収益	401億9100万ユーロ	47%増
営業総利益	168億5100万ユーロ	88%増
リスク費用	-83億6900万ユーロ	46%増
グループ帰属純利益	58億3200万ユーロ	93%増
株主資本利益率	10.8%	(前年度は6.6%)
1株当たり当期純利益	5.2ユーロ	74%増

ソルベンシーを大幅に強化

	2009年12月31日	2008年12月31日
TIER 1 比率	10.1%	7.8%

経済への資金供給に貢献

- フランス国内経済への融資残高：2008年12月31日現在比3.7%増
- ユーロ建て社債発行額で世界第1位
- エクスポート・ファイナンス、エネルギー・ファイナンス、およびコモディティ・ファイナンス分野での主導的地位を確立

フォルトイス買収

- 事業計画を展開中
- シナジー効果は、2012年度までに9億ユーロとなる見込み

2009年度第4四半期業績

	当四半期	(前四半期比)	前年同期
営業収益	100億5800万ユーロ	5.7%減	48億5000万ユーロ
リスク費用	-18億9800万ユーロ	17.5%減	-25億5200万ユーロ
株主帰属当期純利益	13億6500万ユーロ	4.6%増	-13億6600万ユーロ

2010年度のアクション・プラン

- 欧州：欧州の新たな市場にて統合的なビジネスモデルを展開
- 欧州地中海沿岸諸国：急成長市場における新たな目標
- アジア：既存拠点を基盤に、急成長地域における事業機会を確保

2010年2月16日、BNPパリバ取締役会は、ミシェル・ペブロー会長が議長を務める会議において、2009年度第4四半期の当グループの業績を検討し、2009年度の決算を承認しました。

グループ帰属純利益が58億ユーロとなり、高い利益創出力を証明

2009年度は、低迷する景気の影響が色濃い1年でしたが、資本市場へ顧客が戻ったこともあり、BNPパリバ・グループの業績は好調でした。グループ帰属純利益は58億3200万ユーロに達し、2008年度と比べ大幅に回復(93%増)しましたが、金融危機前の水準(2007年は78億2200万ユーロ)は大きく下回りました。

当グループの営業収益は401億9100万ユーロ(当グループの債務の再評価に伴う影響額であるマイナス7億5300万ユーロ¹を含む。2008年度の同影響額はプラス5億9300万ユーロ)となり2008年度と比べ46.8%増加しました。営業費用の増加額を大きく抑えられたため(2008年度比26.8%増の233億4000万ユーロ)、営業総利益は168億5100万ユーロに達し、2008年度と比べ87.7%増加しました。この堅調な業績により、当グループは、新たに生じたリスク費用の増加額(45.5%増の83億6900万ユーロ)を相殺できました。

株主資本利益率は10.8%(2008年度は6.6%、2007年度は19.6%)でした。

1株当たり当期純利益は前期比74%増の5.2ユーロ(2008年度は3.0ユーロ²)となり、増資により生じた希薄化は限定的でした。金融危機の影響が最も大きかった2008年度においても、同利益が黒字であったことは、特筆すべきことでしたが、これに続いて今年も同利益が増加した事実、当グループが、いかなる経済環境でも成長し価値を創出できることの証です。

取締役会は、一株当たり1.50ユーロの配当の支払い(32.3%の配当性向)を、配当の株式による支払いの選択権とともに、株主に提案する予定です。この選択権を提案する目的は、利益の3分の2を内部留保することに加え、更に内部留保にまわされる分を増やすことで、当グループの資本を強化し、新規融資を継続できるようにすることです。

2009年度第4四半期については、当グループの営業収益の合計は100億5800万ユーロ(2008年度第4四半期は48億5000万ユーロ)となりました。リスク費用は18億9800万ユーロとなり、2008年度第4四半期比では25.6%、また2009年度第3四半期比では17.5%それぞれ減少しました。グループ帰属純利益は13億6500万ユーロ(前年同期は13億6600万ユーロの損失、2009年度第3四半期比ではほぼ同水準(4.6%増))となりました。

極めて堅調な業績

2009年度も、当グループの全事業部門は、事業の拡大、顧客サービス、および経済への資金供給を継続しました。

¹ うち、5億1200万ユーロはBNPパリバ発行の債券に関連し、2億4100万ユーロはBNPパリバ・フォルティス発行の債券に関連。

² 2009年度に実行した優先新株予約権に伴う増資を織り込むための調整後の額。

リテール・バンキング

フランス国内リテール・バンキング(FRB)事業

2009 年度通期については、厳しい経済環境の中、フランス国内リテール・バンキング事業は、あらゆる顧客(個人、起業家、および法人顧客)のプロジェクト実行に役立つサービスの提供に向けた取り組みを可能な限り実施しました。この取り組みにより、個人顧客向け融資と法人顧客向け融資の各残高がともに増加(2008 年度比でそれぞれ 5.1%増、3%増)しました。フランスで営業展開する当グループの他の業務部門の取り組みとあわせ、BNP パリバは、フランス政府との合意に基づきフランスでの融資残高を 2009 年 1 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日の間において、3.7%増加させることができました。

預金残高は 2009 年度中に 29 億ユーロ増加しました(2008 年度比 3.1%増)。これは仕組預金のプラスの影響や、要求払い預金の増加(7.5%増)によるものです。

個人顧客の獲得(当座および預金口座の純開設総数は 14 万 5000 口座)や、生命保険商品における総資産流入の増加(2008 年度比 12.4%増)も、当事業部内の高いセールスおよびマーケティング牽引力を示しています。

この高いセールスおよびマーケティング牽引力により、営業収益は 2008 年度比 2.5%増³の 60 億 9100 万ユーロとなりました。この増収は、預金量の増加や預金構成の好ましい変化に牽引され受取利息純額が大幅に増加(5.9%増)した一方、手数料の収入は僅かな減少にとどまった(1.7%減)ことによるものです。

営業費用(1.3%増³の 40 億 3600 万ユーロ)の増加が抑制されたレベルにとどまったことが寄与し、当事業部門は、2009 年度の目標を超える 1.2 ポイントの正のジョーズ効果を上げ、コスト/インカム率を 0.7 ポイント改善して 66.3%とすることができました。リスク費用は、バーゼル I 基準に基づくリスク加重資産の 44 ベーシス・ポイントとなり、低水準(20 ベーシス・ポイント)であった 2008 年度と比べ増加したものの、比較可能な他行の数値よりは依然として低い値です。

営業総利益(9500 万ユーロ増の 20 億 5500 万ユーロ)の伸びは、リスク費用の増加額(2 億 4900 万ユーロ)の一部を相殺するに留まりました。また当事業部内の税引前利益は 15 億 100 万ユーロ(フランス国内プライベート・バンキングによる当期純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の額)となり、2008 年度と比べ 8.5%減少⁴しました。

2009 年度第 4 四半期については、営業収益は 15 億 800 万ユーロとなり、2008 年度第 4 四半期と比べ 4.4%増加³しました。これは、受取利息純額と手数料収入がバランスよく増加(それぞれ、4.0%増および 5.0%増)したためです。営業費用の増加額(3.3%増)³が抑制されたことにより、1.1 ポイントの正のジョーズ効果の発生と、営業総利益の増加(7.2%増の 4 億 6300 万ユーロ)に寄与しました。

フランス国内プライベート・バンキングによる当期純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の税引前利益は 3 億 1600 万ユーロとなり、当期は横ばい(0.6%増)⁴でした。この好調な業績は、リスク費用(主に個人および起業家顧客部門に伴うもので、2008 年度第 4 四半期の 38 ベーシス・ポイントから 48 ベーシス・ポイントへ増加)の増加の相殺に寄与しました。

³ PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

⁴ PEL/CEL の影響を除く。

2010 年度のアクション・プラン

2010 年度も、FRB 事業部門は、個人および法人顧客の財務計画の実行に役立つ顧客サポートを続けていきます。

また当事業部門はより良いサービスの提供と、2012 年度より毎年 5000 万ユーロのシナジー効果を生むことを目指し、フォルティス・フランスが展開している 5 万の個人顧客と 2 万の法人顧客を統合する予定です。

さらに FRB 事業部門は、2013 年度以降の年間営業収益を 2 億ユーロ増加を目的とし、以下のプロジェクトの実施に重点的に取り組みます。

- クラス最高のオンライン・バンキング・サービスを確立する。具体的には、2009 年度に開設した「インターネット支店」を強化して、新たなオンライン・サービスや携帯電話向けサービスを導入する。
- 2011 年までに 60 の *Maisons des entrepreneurs* を開設して、小規模企業や起業家向けの販売およびマーケティングの効率を高める。
- 支店網を活用し損害保険商品の販売を強化する。

最後に、2010 年度も、当部門は、1 ポイントの正のジョーズ効果を維持することを目指します。

BNL バンカ・コメルシアーレ(BNL bc)

BNL の統合プロセスは極めて順調に推移しています。2006 年度から 2009 年度の各事業計画における目標については、達成済か、目標を超える実績を残しています。この事実は、当グループが企業合併を問題なく遂行するのに必要な専門技能を有する証です。

2009 年度通期については、イタリアでの事業拡大の牽引を継続しました。このことは、当座および預金口座の純開設総数が 6 万 800 口座超(2008 年度は 4 万 7000 口座の増加、2007 年度は 6100 口座の増加、BNL が BNP パリバ・グループに統合された 2006 年度には 8 万 6000 口座の減少)となったことや、個人顧客向け融資と法人顧客向け融資が増加(個人向けは 4.2%増、法人向けは 5.7%増、全体では 5.0%増)したこと、また金融貯蓄商品、生命保険商品、および投資信託における市場のシェアが増加したことが示しています。

営業収益の合計は 29 億 2300 万ユーロとなり、2008 年度と比べ 4.4%増加⁵しました。この増収は、融資残高が増加したことや、特に営業収益における、変動の大きい前払手数料の割合が限定的だったことにより金融手数料収入が好調に推移したこと、また市場シェアが拡大したことによるものでした。

BNL bc は、2009 年度中に 51 支店を新設しましたが、営業費用は横ばい⁵(0.6%減)に抑えられたため、2009 年度の目標に一致する 5 ポイントの正のジョーズ効果を上げることができました。この好調な業績により今年度のコスト／インカム率がさらに 3.1 ポイント改善して 59.7%となり、3 年間で 11 ポイント近く改善する結果となりました。営業総利益は前年度比 12.8%増⁵の 11 億 7700 万ユーロとなりました。

イタリア経済の低迷が重荷となり、リスク費用は当年度中に 2 億 1800 万ユーロ増加して 106 ベーシス・ポイント(2008 年度は 73 ベーシス・ポイント)となりました。

⁵ イタリア国内プライベート・バンキングの 100%に関して

イタリア国内プライベート・バンキングによる当期純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の BNL bc の税引前利益は前年度比 14%減の 5 億 4000 万ユーロとなりました。好調な業績により相殺されるリスク費用の増加額はごく一部にとどまりました。

2009 年度第 4 四半期については、金融手数料収入が大幅に増加する一方営業費用が 1.3%減少⁵したため、営業収益は 3.4%増加⁵しました。この結果 BNL bc は 4.7 ポイントの正のジョーズ効果を上げることができました。イタリア国内プライベート・バンキングによる当期純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業部門に配分した後の税引前利益は、前年度比 31.0%減の 6900 万ユーロとなりました。これは、すべての顧客関連部門のリスク費用が 2008 年度第 4 四半期の 102 ベーシス・ポイントから 137 ベーシス・ポイントへ増加したためです。

2010 年度のアクション・プラン

統合が完了した BNL bc では、下記を伴う 3 ヶ年事業発展計画を実施しています。

- 2012 年度に 1000 店を目指し支店を増設する。
- 特に、提供商品の拡充や、Findomestic/資産運用および証券管理事業部門とのクロスセリングを行って個人顧客向け業務の商業的效果を高めるとともに、UCB の統合を実施する。
- 法人顧客を対象に CIB 事業とのクロスセリングを強化する。
- フォルティス・イタリアを統合する。

この計画により、2010 年度には 3 ポイントの正のジョーズ効果が生じる見込みです。

バンクウェスト

2009 年度通期については、バンクウェストの営業収益は為替レートの変動による影響を除外した場合、2008 年度と同水準(0.6%増)の 21 億 3800 万ユーロでした。好調であったコア預金の増加額(2008 年度第 4 四半期比 17.5%増)は、融資残高の伸びが限定的であったこと(2008 年度通期比では 2.3%増だが年度末比には減少)や、金利の低下による純利鞘の減少(2008 年度比 13 ベーシス・ポイント減、同 4%減)により相殺されました。

2009 年度初頭に導入したコスト削減策が功を奏し、営業費用(為替レートの変動による影響を除外した場合で 11 億 6900 万ユーロ)は 2008 年度比 3.9%の増加に留まりました。この増加は、FDIC による評価費用が急増したことに起因します。この影響を除き、営業費用は 1.5%減少しました(為替レートの変動による影響を除外した場合)。

リスク費用は 11 億 9500 万ユーロ(2008 年度は 6 億 2800 万ユーロ)と急増しました。これは、特に住宅ローンに関する貸倒引当金や、投資ポートフォリオから継続的に生じる減損費用といったローン・ポートフォリオに関連するものです。当年度も、この増加は、バンクウェストの同業他社の大半と比較すれば著しい増加ではありませんでした。

この結果、税引前利益は 2 億 2300 万ユーロの損失(2008 年度は 3 億 3300 万ユーロの利益)となりました。

2009 年度第 4 四半期については、営業収益は 2008 年度第 4 四半期と比べ 8.7%減少しました(為替レートの変動による影響を除外した場合)。コア預金は順調に増加したものの、2~3 年物の金利の低下による純利鞘の更なる減少や、融資残高の減少(為替レートの変動による影響を除外した場合)で 2008 年度第 4 四半期と比べ 3.7%減が営業収益に悪影響を及ぼしました。営業費用は 2.9%わずかに増加しました(為替レートの変動による影響を除外した場合)。4 倍増となった FDIC の評価費用や、債権回収費用の増加は、コスト削減効果を大幅に上回りました。リスク費用は 2 億 7500 万ユーロ(303 ベーシス・ポイント)となり、2008 年度第 4 四半期比ではほぼ同水準でしたが、2009 年度第 3 四半期比では 6700 万ユーロ減少しました。この結果、当四半期の税引前利益は 5500 万ユーロの損失となりました(前年同期は 1700 万ユーロの利益、2009 年度第 3 四半期は 6900 万ユーロの損失)。

2010 年度のアクション・プラン

バンクウエストは、2010 年度において、クロスセリングや顧客獲得の促進を目的として、そのネットワークの商業的効果の向上に尽力していきます。コスト削減のための取り組みも更に強化し、2009 年度において既に 7200 万米ドルの削減効果を生んでいるコスト削減策を 1 億 3000 万米ドルまで高める予定です。

投資ポートフォリオに伴う新たな減損の減少によりリスク費用の減少が見込まれ、バンクウエストは 2010 年度の黒字回復を目指します。

エマージング・リテール・バンキング

エマージング・リテール・バンキングは、2009 年度の目標値であった 500 万を超える顧客獲得数が裏付ける通り、引き続き事業の拡大を進めており、また、地中海沿岸諸国にて採用を継続しました。

2009 年度通期については、ユーロに対する複数通貨の価値の低下の影響により、営業収益が、2008 年度と比べ 8.5%減少し、17 億 3500 万ユーロとなりました。選択的成長策によって、すべての国で預金に伴う利鞘の減少によるマイナス影響が生じたにもかかわらず、営業収益は 2.2%増加しました(連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合)。預貸率は 89%となり、2008 年度と比べ 1 ポイント改善しました。これは、特にウクライナでは残高が減少したものの、預金残高の増加(4.7%増)が融資残高の増加(4.2%増)を上回ったことによります。

営業費用は、地中海沿岸諸国での継続的な事業拡大により 2008 年度と比べ 7.8%増加しました(連結範囲および為替レートの変動による影響を除外した場合)。しかしウクライナでは減少しました。

リスク費用は前年度と比べ急増(4 億 1100 万ユーロ増)しました。この増加は、ウクライナにおける引当金の水準が更に上昇し(2008 年度の 3 億 1900 万ユーロに比べ 2009 年度は 4 億 5000 万ユーロ)、湾岸諸国における少数のローンに係る貸倒引当金が増加(1 億 6200 万ユーロ増)したためです。その他の国におけるリスク費用の増加は抑制された水準に維持されています。

この結果、2009 年度における税引前利益は 1 億 4800 万ユーロの損失となりました(資産売却に伴い 1 億 4500 万ユーロのキャピタル・ゲインが生じた 2008 年度は 5 億 3400 万ユーロの利益)。

2009 年度第 4 四半期については、営業収益が前年同期と比べ 14.1%減少しました(連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合)。これは、融資残高の減少(2008 年度第 4 四半期と比べ 8.1%減)や、域内各国での、金利低下に伴う預金利鞘の減少によるマイナス影響によるものです。しかし 2009 年度第 3 四半期比では営業収益は若干増加しました。営業費用は、主にウクライナでの再編計画を継続したことにより 2.6%減少しました(連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合)。

ウクライナで新たに設定した引当金 1 億 800 万ユーロを含めて 2 億 1300 万ユーロ(343 ベーシス・ポイント)のリスク費用は、2008 年度第 4 四半期比では 6400 万ユーロ減少しましたが、2009 年度第 3 四半期比ではほぼ同水準でした。税引前利益は 7000 万ユーロの損失となりました(2008 年度第 4 四半期は 4000 万ユーロの損失、2009 年度第 3 四半期は 7900 万ユーロの損失)。

2010 年度のアクション・プラン

エマージング・リテール・バンキングの目標は、急成長市場での事業基盤を拡大することです。新たな欧州地中海沿岸諸国の業務部門(営業環境が既に整っており、BNP パリバ・フォルティスのものを含む 2300 近い支店を既に保有)は、トルコ、地中海沿岸諸国(支店を継続的に増設予定)および中欧/東欧諸国(ポーランドでの事業発展見込)といった高い成長が見込まれる 3 地域での業務に再び焦点を当てていきます。これらの地域では、各市場に固有のニーズに対応できるような方法でリテール・バンキング・モデルを展開していきます。

パーソナル・ファイナンス

2009 年度通期については、パーソナル・ファイナンスの営業収益の合計は 43 億 200 万ユーロとなり、2008 年度と比べ 13.4%増加しました。これは残高(特に年度末現在のモーゲージ)が引き続き増加(5.2%増)したためです。

コスト削減策が功を奏し、営業費用は 2008 年度と比べ 1.4%わずかに減少しました。この厳格なコスト管理と高い営業収益牽引力により、パーソナル・ファイナンスの営業総利益は大幅に増加(31.9%増)して 22 億 3100 万ユーロとなり、14.8 ポイントの正のジョーズ効果が生じました。

リスク費用は、景気の後退や失業率の上昇により急増(56.2%増)して 19 億 200 万ユーロとなりました。これは 321 ベーシス・ポイント(2008 年度は 222 ベーシス・ポイント)に相当します。それでもなお、好調な業績により、この費用増加分のうちの 4 分の 3 以上を相殺できました。

税引前利益は合計 4 億 1200 万ユーロとなりました(当グループが保有する Cofidis の持分売却に伴い 1 億 2300 万ユーロのキャピタル・ゲインが生じた 2008 年度は 6 億 6600 万ユーロ)。

2009 年度第 4 四半期については、営業収益は 2008 年度第 4 四半期と比べ 15.5%増加しました。これは特に、モーゲージ組成額が増加したことや借換費用の低減に牽引され残高が増加(4.0%増)したためです。営業費用(3.0%減)の管理が非常に優れていた(3.0%減)ため、営業総利益は急増(41.2%増)しました。リスク費用は 5 億 1900 万ユーロに達し、2008 年度第 4 四半期比では 1 億 3500 万ユーロ増加し、2009 年度第 3 四半期比では高水準(340 ベーシス・ポイント)のまま推移しました。税引前利益は 6900 万ユーロとなり、営業総利益の成長率が加速的に高まった(1 億 6700 万ユーロ増)ことから当四半期におけるリスク費用の増加(1 億 3500 万ユーロ増)は全額相殺されました。

2010 年度のアクション・プラン

パーソナル・ファイナンスは、2010 年度に以下を行う計画です。

- 好調な業績をてこに、イタリアやフランスでの貸付業務を責任を持って展開していくとともに、電子商取引業者 (PayPal) と提携する。
- ベルギー、欧州地中海沿岸諸国、およびドイツのバンキング・ネットワークとのシナジー効果を高める。これら地域では、長期にわたるドレスナー銀行との提携が拡大され、コメルツ銀行の顧客を取り込んだところである。
- IT システムを改善および合理化する。

2009 年 12 月の Findomestic の経営権取得により、新たな事業戦略の実施と 4 つの国内市場の 1 つにおける当グループの地位の一層の強化が可能となります。

これらすべての対策により、パーソナル・ファイナンスは、2 ポイントの正のジョーズ効果を生み出せる見込みです。

エクイップメント・ソリューション

2009 年度通期については、エクイップメント・ソリューションの営業収益は 10 億 8700 万ユーロとなり、2008 年度と比べ微増 (1.9%増) しました。これは、残高は減少したものの、当年度下半期において中古車価格が持ち直したためです。営業収益が持ちこたえ、営業費用が抑制された結果 (1.3%減)、当業務部門の営業総利益は 8.3%増加しました。税引前利益は 1 億 7200 万ユーロとなり、リスク費用が増加 (2008 年度比 4900 万ユーロ増) したにもかかわらず 2008 年度と比べ 4.4%の減少に留まりました。

2009 年度第 4 四半期については、当業務部門の営業収益は 2008 年度第 4 四半期と比べ 44.0%急増しました。これは中古車価格が大きく持ち直したためです。営業費用はリスク費用同様に横ばいでした。この結果、税引前利益は 9800 万ユーロ (2008 年度第 4 四半期は 1400 万ユーロの損失) となりました。

2010 年度のアクション・プラン

BNP パリバ・リース・グループは、2010 年度に以下を行う計画です。

- フランス、イタリア、ベルギー、およびルクセンブルクの当グループのネットワークと取引のある顧客とのローン契約を増やす。
- フォルティス・リースとの提携による、世界各国での存在感の高まりを活用し、設備メーカーと新たに提携する。
- 消費者への、付加価値のあるリース・サービスの直販を加速する。

中古車市場が回復しているため、Arval は、リース車両台数と欧州での市場のシェアを増やすことに焦点を当てていきます。

資産運用および証券管理事業部門

2009 年度通期については、資産運用および証券管理事業の全業務部門における純資産流入の合計が 255 億ユーロに達し、運用資産の年率換算資産流入率が 5.1%となりました。資産流入額が極めて堅調に増加し、2007 年度より改善した事実や、2008 年度(資産流入がプラスとなった数少ない銀行のうちの 1 行が BNP パリバであった年度)の 2.5 倍に近い額となった事実は、金融危機の最中にあってもフランチャイズの魅力が高いことを示しています。株式市場の各種指標の上昇による業績の押し上げ効果と、この好調な資産流入により、運用資産残高は、2008 年 12 月 31 日の水準と比べ 17%押し上げられ、5880 億ユーロに達し、2007 年度末の水準に回復しました。

営業収益は、2008 年度と比べて微減(3.4%減)し、47 億 6800 万ユーロとなりました。運用資産残高の大幅な持ち直しにより、資産運用業務部門における利鞘の減少や、保険業務部門における一般勘定の引当金の積み増し、また証券管理業務部門における取引量の減少や預り資産の資金化に要する期間の金利コストの上昇に伴う純利鞘の減少を相殺することができました。

2008 年度末に全業務部門で実施したコスト削減策が功を奏し、営業費用は 34 億ユーロと横ばい(0.7%減)を維持しました。

当事業部門は高い収益力を維持しました。税引前利益の合計は 12 億 9000 万ユーロ(フランスおよびイタリア国内プライベート・バンキングからの 3 分の 1 の利益配分後の額)となり、2008 年度と同水準(1.5%減)でした。

2009 年度第 4 四半期については、資産運用および証券管理事業部門の営業収益は、2008 年度第 4 四半期と比べ 12.7%急増し、12 億 700 万ユーロとなりました。資産管理(富裕層向け資産運用)業務部門からの営業収益は 11.8%増加しており、平均利益率の減少が運用資産の急増(17%増)により相殺されました。保険業務部門からの営業収益は急増(68.3%)しました。これは、2008 年度第 4 四半期に投資ポートフォリオについて計上した 1 回限りの減損費用の影響(マイナス 1 億 4200 万ユーロ)によるものです。証券管理業務部門からの営業収益は 21.1%減少しました。これは、短期金利の低下による純利鞘の減少や取引量の減少の影響によるものです。

この高い営業収益牽引力と、営業費用を微増(3.2%増)に抑えられた事実が、当部門による 2 億 9700 万ユーロの税引前利益(2008 年度第 4 四半期比 41.4%増)の確保に寄与しました。

2010 年度のアクション・プラン

当部門は、2010 年度においても、各国内ネットワークとのクロス・セリングの増加や顧客獲得のための戦略を実施し続けていきます。

当部門は、BNP パリバ・フォルティスと、BGL BNP パリバのプライベート・バンキング、資産運用業務部門、および証券管理業務部門との統合を成功させ、ユーロ圏で最大のプライベート・バンクおよび欧州で第 5 位のファンド・マネージャーとなることを目指していきます。

最後に、当部門は、汎アジアでの大手資産運用業者の 1 つとなるため、アジア市場での事業拡大を継続し、香港、シンガポール、およびインドの 3 つの主要拠点を擁しつつアジアでの大手資産運用業者の仲間入りを果たしていきます。

コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門

2009 年度通期については、CIB の営業収益の合計は 121 億 9400 万ユーロとなりました(特に第 4 四半期におけるリーマン・ブラザーズの破綻以降の未曾有の金融危機の影響が色濃かった 2008 年度は 49 億 7300 万ユーロ)。

当年度においては、市場が徐々に正常化し、対顧客ビジネスの量も大幅に増えたため、アドバイザリーおよびキャピタル・マーケット業務部門の営業収益は 90 億 8600 万ユーロ(2008 年度は 20 億 6600 万ユーロ)に達しました。特に年初においてビット・オファー・スプレッドが極めて大きくなったことや、特筆すべき市場シェアの獲得に伴い、証券発行関連業務(社債、増資、または転換証券関連業務)が大幅に増加しました。

フィクスト・インカム業務部門からの営業収益の合計は 72 億 5500 万ユーロでした(2008 年度は 24 億 700 万ユーロ)。記録的な対顧客ビジネス、中でも顧客の資金調達をサポートするための社債発行関連業務(当業務部門は、ユーロ建ての発行額で第 1 位)がこの収益を牽引しました。当部門の金利デリバティブや為替デリバティブ商品関連業務は、金利リスクや為替リスクをヘッジしたいという企業や投資家のニーズに適合し大幅な増加を示しました。

株式およびアドバイザリー業務部門の営業収益は 18 億 3100 万ユーロに達しました(2008 年度は、リーマン・ブラザーズの破綻により急激に流動性が枯渇し、市場が混乱したため 3 億 4100 万ユーロの損失)。エクスポージャーの削減策の実施に努めた第 1 四半期以降、当業務部門の事業や営業収益は十分な水準に戻りました。当部門では、資本調達に関する法人顧客のニーズに応えるため、株式および転換証券の発行や IPO を多数手がけました。インデックス・ベースのフロー商品に対する機関投資家顧客の需要も根強いものでした。仕組商品関連業務においては、より単純でボラティリティが低く元本確保型の商品への顧客需要が当年度下半期に入り徐々に戻ってきています。

ファイナンス業務部門の営業収益は 31 億 800 万ユーロとなり、2008 年度と比べ 6.9%増加しました。この増収は当部門の好調な業務(特にストラクチャード・ファイナンス、コモディティ・ファイナンス、およびエクスポート・ファイナンス業務)が牽引したもので、当業務部門のファイナンス業務への大きな貢献を示しています。

当部門の営業費用の合計は 54 億 5300 万ユーロでした(2008 年度は 37 億 1100 万ユーロ)。この額は、ボーナスの総額、繰延や条件付きで支払う部分、並びにフランスや英国での今年度限りでボーナス見合額に課されることとなった税金の合計額を含みます。コスト/インカム率は 44.7%で、業界最低水準を維持しました。

当部門のリスク費用は 22 億 9500 万ユーロ(2008 年度は 24 億 7700 万ユーロ)でした。これは、金融危機の影響を受けたことによる 2008 年度以降における資本市場関連業務でのリスク費用の急減(11 億 8800 万ユーロ減)と、世界的に深刻化している景気後退に起因するファイナンス業務における同費用の急増(10 億 600 万ユーロ増加して 96 ベーシス・ポイントへ。これに対し 2008 年度は 25 ベーシス・ポイント)の影響を含むものです。

この結果、CIB の税引前利益の合計は 44 億 4400 万ユーロ(市場危機の最中の 2008 年度は 11 億 8900 万ユーロの損失)でした。

この極めて堅調な業績は、CIB のフランチャイズの質の高さや多様性、顧客主導型のビジネスモデルの健全性、また新たな市場環境に対応する積極的な姿勢を示しています。この業績は、市場リスクの大幅な減少(平均 VaR が前年度に比べ 43.2%減少したことが証明している)の中で生じたものであり、当部門のビジネスモデルが顧客に焦点を当てたものであることを証明しています。この結果、市場リスクは、当グループのリスク加重資産の 3.8%に留まり、業界最低水準となりました。

2009 年度第 4 四半期については、CIB の営業収益の合計は 22 億 1300 万ユーロとなりました(2008 年度第 4 四半期は 2 億 4800 万ユーロの損失、また 2009 年度第 3 四半期は 29 億 3400 万ユーロの利益)。資本市場関連業務においては、年度末に、対顧客ビジネスにおける季節性の減益が生じたものの、ファイナンス業務部門からの営業収益は、前四半期と同様に極めて高い水準を維持しました。

営業費用は 10 億 9400 万ユーロとなり、2008 年度第 4 四半期と比べ 5 億 8000 万ユーロ増加しました。また、第 3 四半期にその計上が繰り延べられたものを含むすべての変動報酬が第 4 四半期において計上されたため、2009 年度第 3 四半期比では 2.5%の減少に留まりました。この結果、2009 年度の変動報酬の繰延部分は繰り越されず、今後の利益に影響を及ぼさない見込みです。

リスク費用は 2 億 8200 万ユーロとなりました(金融危機の影響を大きく受けた 2008 年度第 4 四半期は 13 億 500 万ユーロ、また 2009 年度第 3 四半期は 5 億 7200 万ユーロ)。ファイナンス業務部門のリスク費用は、1 億 9000 万ユーロ(58 ベーシス・ポイント)となり、2009 年度第 3 四半期と比べ減少しました。これは新たな破綻懸念債権の数が限定的だったためです。

税引前利益の合計は 8 億 3400 万ユーロでした(前年同期は 20 億 6800 万ユーロの損失、また 2009 年度第 3 四半期は 12 億 3600 万ユーロの利益)。

市場関連業務の従事者へのボーナスに関する新たな取り組み

金融危機は、トレーダーへの賞与支給方法を抜本的に変える必要性を浮き彫りにしました。BNP パリバは、金融危機を最もうまく乗り越えた銀行の 1 行ですが、この変化に対応するための対策を講じる決定をしました。導入された賞与支給方針および規則は、G20 の新国際基準に完全に準拠しており、支給額を自制する意思を反映したものとなっています。当グループは、この新たな環境において、対象従業員の行動と、当行の長期目標(特にリスクに関する目標)を整合させる必要性を強調していく予定です。

賞与基金の残高は、CIB の市場関連業務に影響を及ぼすあらゆる費用(特に、流動性費用、リスク費用、配分された株式報酬額、税務上の取扱い)の考慮後に決定されます。

各賞与支給額の決定に用いる方法には、各従業員の業績を、量的および質的な基準に照らしてレビューするという方法が含まれます。各従業員の品行(特に団体精神や、倫理規定および各法令の遵守状況)の評価は、このプロセスの明示的な一部です。

繰延賞与は、複数年における業績をもとにその額が決定されるもので、持続可能な慣行を推進するという当グループの判断に沿って、BNP パリバの株価を安定化させます。

CIB 全体での、営業収益に占める報酬の割合⁶は、27.7%のみです。この数値は、約 40%であった前年度より大幅に低い数値です。また世界の同業者と比べても最低水準に入ります。

2010 年度のアクション・プラン

CIB は、2010 年度に以下の実施に努めていきます。

- 特に、コーポレート&トランザクション・バンキング・ヨーロッパの新設を通じて法人顧客へのバンキング・サービスの浸透度を高めるという方法で、欧州でのトップシェアを強固にする。
- トップシェアを誇るエネルギー・ファイナンスやコモディティ・ファイナンス関連サービスを活用してエネルギーやコモディティ関連業界へのサービス拡大を通じて北米市場での選択的成長を継続する。
- アジア市場における急成長を生かし、資本市場関連商品を拡充し、ストラクチャード・ファイナンス業務におけるシェアを高めるという方法で、急成長しているアジア市場を利用する。

BNP パリバ・フォルティス

BNP パリバ・フォルティスが当グループの 2009 年度の業績に貢献した期間は、初めて連結された 5 月 12 日から 7.5 ヶ月間です。このため比較可能な 2008 年度の財務情報は存在しません。この貢献額は、取得原価配分に係る会計規則に準拠して貸借対照表の調整額を考慮した額です。

⁶ 計上されているすべての固定および変動報酬(変動報酬の繰延部分(何らかの条件が適用されるものであっても)や社会的費用、また標準的な税金を含み、フランスや英国での 1 回限りの税金は含まない)。

当該期間における営業収益の合計は 52 億 9200 万ユーロでした。これは、リテール・ネットワークにおける事業の好転や、当年度第 2 および第 3 四半期における市場関連業務の量が極めて好調に推移したことにより利益を確保できたためです。営業費用は 31 億 4700 万ユーロとなり、当初のスケジュールの前倒しにより初めて生じた合計 1 億 2000 万ユーロの費用シナジーの影響額を含んでいます(ただし 2009 年度における影響額は 1 億 1000 万ユーロのみ⁷)。営業総利益の合計は 21 億 4500 万ユーロでした。リスク費用は 8 億 5300 万ユーロ(78 ベーシス・ポイント)となり、依然として高水準でした。税引前利益は 13 億 6000 万ユーロとなり、うち 8 億 4700 万ユーロは取得原価配分調整に伴う既定の償却額でした。BNP パリバ・フォルティスの、当グループの当期純利益への貢献額の合計は、7 億 800 万ユーロ(税金と少数株主損益控除後の額)でした。

今期の大幅な貢献は、各部門の牽引力を高めた結果生じたものです。

ベルギーのリテール・バンキング・ネットワークが BNP パリバ・グループの傘下に入ったため、その顧客の預金や資産も加わり始めています。2009 年度末現在の預金残高の合計は 672 億ユーロでした(2009 年度第 1 四半期は 598 億ユーロ)。融資残高は横ばいでした。5 月末に新たに開始したセールスおよびマーケティング・キャンペーンが顧客に好評だったため、相当の売上をもたらしました。ルクセンブルクの拠点においては、融資残高が若干増加し、預金残高が安定推移しました。

運用資産は、業績のプラス効果のおかげで統合日以降若干増加し、1610 億ユーロとなりました。プライベート・バンキング部門も同様の傾向で、その運用資産は 2009 年度末現在で 440 億ユーロに達しました。

マーチャント・バンキングの各業務部門は、当年度におけるリスク加重資産の減少や市場リスクの大幅な減少に反映されるように、統合以降そのリスク特性が下がったにもかかわらず、優れた営業収益牽引力を発揮しました。

2009 年度第 4 四半期については、営業収益は 16 億 1800 万ユーロとなり、第 3 四半期と比べ 6 億 1500 万ユーロ減少しました(うち 3 億 4500 万ユーロはマーチャント・バンキングにおける事業の低迷とリスク軽減の影響によるもので、2 億 4100 万ユーロは自らの信用スプレッドに対する 1 回限りの調整によるもの)。この減益額は、営業費用(合計 11 億 6400 万ユーロとなり、第 3 四半期と比べ 1 億 2600 万ユーロ減少)の減少や、リスク費用(2 億 2800 万ユーロとなり 1 億 200 万ユーロ減少)の減少により一部のみ相殺されました。グループ帰属純利益への貢献額(関連会社損益、その他の営業外項目、税金、および少数株主損益控除後の額)は 1 億 7000 万ユーロとなり、第 3 四半期と比べ 1 億 700 万ユーロ減少しました。

当年度第 4 四半期においては、フォルティス・グループの資産および負債を買収日現在の公正価値で評価するための追加作業により調整が生じ、全体として、負ののれんが 2000 万ユーロ増加の 8 億 3500 万ユーロとなりました。

ソルベンシーを強化

当グループの、事業成長による強大な資本創出力により、リスク加重資産の削減とともに、6210 億ユーロの資本創出をもたらしました。通期では、特に CIB や BNP パリバ・フォルティスのマーチャント・バンキングにおいて 730 億ユーロのリスク加重資産の削減を達成した一方、リテール・バンキングでは増加傾向が続きました。

⁷ 事業再構築費用(税引前合計が 1 億 6800 万ユーロ)が「コーポレート・センター」に計上された。

この結果、2009年12月31日現在でのTier 1比率は10.1%となり、2008年12月31日現在と比べ230ベース・ポイント上昇しました。エクイティTier 1比率は8%(2008年12月31日現在では5.4%)となり、260ベース・ポイントの大幅増となりました。この増加原因は、事業成長による資本創出(85ベース・ポイント増)、リスク加重資産の削減(75ベース・ポイント増)、および支払った株式配当を含む2009年度に実施した増資(100ベース・ポイント増)によるものです。

当グループが、金融危機の最中にあっても事業成長によりソルベンシーを高められたことや、単年度ベースでは赤字に陥らなかったことは、当グループの多様なビジネスモデルやリスク特性に照らしてソルベンシーの水準が適切なことの証です。

中央銀行の出口戦略が象徴的な2010年度初頭においても、当グループは、有利な流動性の状況を維持しています。これは、銀行間取引市場への依存度が低いため、ユーロ圏で預金残高第1位を誇る銀行であることや、積極的な流動性管理策を当グループの本社で集中的に行っていること、また比較可能な銀行の中で最低水準のCDSスプレッドにより借換費用が他行に比べ低いこと等がその依存度の低さの要因です。さらに、当グループの中長期的な発行必要額は、2009年度より減少しています。

2009年12月31日現在の当グループの総資産額は2兆580億ユーロとなり、2008年12月31日現在の水準(2兆760億ユーロ)を下回りました。これは、フォルトイス買収により5180億ユーロが追加されたものの、銀行勘定の増加額がトレーディング勘定の減少額により相殺された額を上回ったためです。

以上の業績に対するコメントとして、ボードゥアン・プロ最高経営責任者は、次のように述べています。

「金融危機の発生以降も、BNPパリバでは、多様で統合的な顧客主導型のビジネス・モデルを再現できる力を証明してきました。現在のような厳しい環境においても、当グループは、国内市場での業務を拡大し、ソルベンシーを大幅に強化できる欧州で限られた銀行の1行であります。

当グループの従業員は、銀行融資、証券発行、IPO等手法にかかわらず、お客様の財務活動の支援に全力を注いでおります。

当グループでは、リテール・バンキング・サービス、あらゆる投資家向けサービスの積極的な展開およびコーポレートバンキング・投資銀行事業部門の強固なシェアによるバランスの取れた事業発展モデルがお客様の利益につながると確信しております。これらは、お客様のニーズを満たすのに必要なサービスの重要な要素となります。BNPパリバは、これらの業務の担当者への賞与慣行を見直して、より一層模範的な銀行となる決意をいたしました。これが、2009年度下半期において、当グループが、この分野での取り組みを、単にG20の規則に準ずること以上のものを目指す理由です。

BNPパリバは、2010年度も、全ての主要業務部門の体制を整えており、その利益創出力の多くを経済への資金供給に貢献し続けてまいります。」

連結損益計算書

	4Q09	4Q08	4Q09/ 4Q08	3Q09	4Q09/ 3Q09	2009	2008	2009/ 2008
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	10,058	4,850	n.s.	10,663	-5.7%	40,191	27,376	+46.8%
営業費用および減価償却費	-6,137	-4,308	+42.5%	-6,037	+1.7%	-23,340	-18,400	+26.8%
営業総利益	3,921	542	n.s.	4,626	-15.2%	16,851	8,976	+87.7%
リスク費用	-1,898	-2,552	-25.6%	-2,300	-17.5%	-8,369	-5,752	+45.5%
営業利益	2,023	-2,010	n.s.	2,326	-13.0%	8,482	3,224	n.s.
関連会社損益	74	-51	n.s.	61	+21.3%	178	217	-18.0%
その他の営業外項目	-2	93	n.s.	58	n.s.	340	483	-29.6%
営業外損益	72	42	+71.4%	119	-39.5%	518	700	-26.0%
税引前利益	2,095	-1,968	n.s.	2,445	-14.3%	9,000	3,924	n.s.
法人税	-574	645	n.s.	-918	-37.5%	-2,526	-472	n.s.
少数株主帰属純利益	-156	-43	n.s.	-222	-29.7%	-642	-431	+49.0%
株主帰属当期純利益	1,365	-1,366	n.s.	1,305	+4.6%	5,832	3,021	+93.0%
コスト／インカム率						58.1%	67.2%	-9.1 pt

BNP パリバの 2009 年度第 4 四半期の財務開示物は、本プレスリリース、および本文書に添付してある表示物に含まれています。

法令上要求される開示物はすべて、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「業績 (Results)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典の第 L.451-1-2 条の条文および [訳補：フランス] 金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) 一般規則の第 222-1 条以降の条文に従って BNP パリバが公表しています。

2009 年度第 4 四半期のコア事業の業績

(単位：百万ユーロ)	フランス国内 リテール・ バンキング事業	BNL bc	その他 リテール・ バンキング	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	BNP パリバ・ フォルティス	各事業部門	その他	グループ 全体 (合計)
営業収益	1,421	743	2,348	1,207	2,213	1,618	9,550	508	10,058
対前年同期比	+2.1%	+3.3%	-0.1%	+12.7%	n.s.	n.s.	+80.7%	n.s.	n.s.
対前四半期比	-1.8%	+1.8%	+1.5%	+0.0%	-24.6%	-27.5%	-12.1%	n.s.	-5.7%
営業費用および減価償却費	-1,016	-468	-1,272	-883	-1,094	-1,164	-5,897	-240	-6,137
対前年同期比	+3.3%	-0.8%	-6.5%	+3.2%	n.s.	n.s.	+40.9%	+96.7%	+42.5%
対前四半期比	+0.5%	+10.9%	+5.6%	+3.6%	-2.5%	-9.8%	-0.1%	+77.8%	+1.7%
営業総利益	405	275	1,076	324	1,119	454	3,653	268	3,921
対前年同期比	-0.7%	+11.3%	+8.6%	+50.7%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
対前四半期比	-7.1%	-10.7%	-3.0%	-8.7%	-38.2%	-51.9%	-26.4%	n.s.	-15.2%
リスク費用	-122	-205	-1,054	-4	-282	-228	-1,895	-3	-1,898
対前年同期比	+25.8%	+39.5%	+6.4%	n.s.	-78.4%	n.s.	-25.4%	-72.7%	-25.6%
対前四半期比	-10.9%	+18.5%	-6.2%	n.s.	-50.7%	-30.9%	-17.5%	-25.0%	-17.5%
営業利益	283	70	22	320	837	226	1,758	265	2,023
対前年同期比	-9.0%	-30.0%	n.s.	+49.5%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
対前四半期比	-13.2%	-48.1%	n.s.	-13.0%	-32.5%	-63.1%	-34.1%	n.s.	-13.0%
関連会社損益	1	0	15	-16	0	41	41	33	74
その他の営業外項目	0	-1	5	-7	-3	44	38	-40	-2
税引前利益	284	69	42	297	834	311	1,837	258	2,095
対前年同期比	-9.0%	-31.0%	-65.6%	+41.4%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
対前四半期比	-12.9%	-48.9%	n.s.	-20.2%	-32.5%	-45.9%	-30.6%	n.s.	-14.3%

(単位：百万ユーロ)	フランス国内 リテール・ バンキング事業	BNL bc	その他 リテール・ バンキング	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	BNP パリバ・ フォルティス	各事業部門	その他	グループ 全体 (合計)
営業収益	1,421	743	2,348	1,207	2,213	1,618	9,550	508	10,058
前年同期	1,392	719	2,351	1,071	-248	0	5,285	-435	4,850
前四半期	1,447	730	2,314	1,207	2,934	2,233	10,865	-202	10,663
営業費用および減価償却費	-1,016	-468	-1,272	-883	-1,094	-1,164	-5,897	-240	-6,137
前年同期	-984	-472	-1,360	-856	-514	0	-4,186	-122	-4,308
前四半期	-1,011	-422	-1,205	-852	-1,122	-1,290	-5,902	-135	-6,037
営業総利益	405	275	1,076	324	1,119	454	3,653	268	3,921
前年同期	408	247	991	215	-762	0	1,099	-557	542
前四半期	436	308	1,109	355	1,812	943	4,963	-337	4,626
リスク費用	-122	-205	-1,054	-4	-282	-228	-1,895	-3	-1,898
前年同期	-97	-147	-991	-1	-1,305	0	-2,541	-11	-2,552
前四半期	-110	-173	-1,124	13	-572	-330	-2,296	-4	-2,300
営業利益	283	70	22	320	837	226	1,758	265	2,023
前年同期	311	100	0	214	-2,067	0	-1,442	-568	-2,010
前四半期	326	135	-15	368	1,240	613	2,667	-341	2,326
関連会社損益	1	0	15	-16	0	41	41	33	74
前年同期	1	0	18	-3	0	0	16	-67	-51
前四半期	0	0	20	5	2	-5	22	39	61
その他の営業外項目	0	-1	5	-7	-3	44	38	-40	-2
前年同期	0	0	104	-1	-1	0	102	-9	93
前四半期	0	0	-1	-1	-6	-33	-41	99	58
税引前利益	284	69	42	297	834	311	1,837	258	2,095
前年同期	312	100	122	210	-2,068	0	-1,324	-644	-1,968
前四半期	326	135	4	372	1,236	575	2,648	-203	2,445
法人税						-99			-574
少数株主帰属純利益						-42			-156
株主帰属当期純利益						170			1,365

2009 年度のコア事業の業績

(単位：百万ユーロ)	フランス国内 リテール・ バンキング事業	BNL bc	その他 リテール・ バンキング	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	BNP パリバ・ フォルティス*	各事業部門	その他	グループ 全体 (合計)
営業収益	5,801	2,897	9,262	4,768	12,194	5,292	40,214	-23	40,191
対前年同期比	+1.5%	+4.4%	+5.5%	-3.4%	n.s.	n.s.	+47.9%	n.s.	+46.8%
営業費用および減価償却費	-3,921	-1,728	-5,052	-3,400	-5,453	-3,147	-22,701	-639	-23,340
対前年同期比	+1.4%	-0.5%	+0.4%	-0.7%	+46.9%	n.s.	+27.7%	+1.8%	+26.8%
営業総利益	1,880	1,169	4,210	1,368	6,741	2,145	17,513	-662	16,851
対前年同期比	+1.7%	+12.6%	+12.3%	-9.5%	n.s.	n.s.	+86.1%	+52.5%	+87.7%
リスク費用	-451	-629	-4,089	-27	-2,295	-853	-8,344	-25	-8,369
対前年同期比	n.s.	+53.0%	+72.0%	-87.0%	-7.3%	n.s.	+47.0%	-67.1%	+45.5%
営業利益	1,429	540	121	1,341	4,446	1,292	9,169	-687	8,482
対前年同期比	-13.2%	-13.9%	-91.2%	+2.8%	n.s.	n.s.	n.s.	+34.7%	n.s.
関連会社損益	1	0	58	-13	0	59	105	73	178
その他の営業外項目	0	0	34	-38	-2	9	3	337	340
税引前利益	1,430	540	213	1,290	4,444	1,360	9,277	-277	9,000
対前年同期比	-13.2%	-14.0%	-87.6%	-1.5%	n.s.	n.s.	n.s.	+49.7%	n.s.
法人税						-378			-2,526
少数株主帰属純利益						-274			-642
株主帰属当期純利益						708			5,832
年率換算の税引後株主資本利益率									0.0%

* 参考情報：2009 年度は、買収後の 5 月 12 日から 12 月 31 日までの期間を表している。

四半期決算

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09
(単位：百万ユーロ)								
グループ事業								
営業収益	7,395	7,517	7,614	4,850	9,477	9,993	10,663	10,058
営業費用および減価償却費	-4,605	-4,852	-4,635	-4,308	-5,348	-5,818	-6,037	-6,137
営業総利益	2,790	2,665	2,979	542	4,129	4,175	4,626	3,921
リスク費用	-546	-662	-1,992	-2,552	-1,826	-2,345	-2,300	-1,898
営業利益	2,244	2,003	987	-2,010	2,303	1,830	2,326	2,023
関連会社損益	85	63	120	-51	-16	59	61	74
その他の営業外項目	345	9	36	93	3	281	58	-2
税引前利益	2,674	2,075	1,143	-1,968	2,290	2,170	2,445	2,095
法人税	-570	-446	-101	645	-658	-376	-918	-574
少数株主帰属純利益	-123	-124	-141	-43	-74	-190	-222	-156
株主帰属当期純利益	1,981	1,505	901	-1,366	1,558	1,604	1,305	1,365

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09
(単位：百万ユーロ)								
フランス国内リテール・バンキング(フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)								
営業収益	1,521	1,516	1,470	1,442	1,524	1,516	1,504	1,476
うち受取利息純額	827	819	831	821	876	865	849	824
うち手数料	694	697	639	621	648	651	655	652
営業費用および減価償却費	-975	-985	-1,011	-1,012	-970	-980	-1,041	-1,045
営業総利益	546	531	459	430	554	536	463	431
リスク費用	-29	-37	-40	-97	-89	-130	-110	-123
営業利益	517	494	419	333	465	406	353	308
営業外損益	0	1	-1	1	0	0	0	1
税引前利益	517	495	418	334	465	406	353	309
資産運用および証券管理事業帰属利益	-35	-32	-28	-22	-25	-26	-27	-25
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	482	463	390	312	440	380	326	284

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09
PEL/CEL の影響を除くフランス国内リテール・バンキング(フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)								
営業収益	1,520	1,514	1,465	1,444	1,528	1,530	1,525	1,508
うち受取利息純額	826	817	826	823	880	879	870	856
うち手数料	694	697	639	621	648	651	655	652
営業費用および減価償却費	-975	-985	-1,011	-1,012	-970	-980	-1,041	-1,045
営業総利益	545	529	454	432	558	550	484	463
リスク費用	-29	-37	-40	-97	-89	-130	-110	-123
営業利益	516	492	414	335	469	420	374	340
営業外損益	0	1	-1	1	0	0	0	1
税引前利益	516	493	413	336	469	420	374	341
資産運用および証券管理事業帰属利益	-35	-32	-28	-22	-25	-26	-27	-25
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	481	461	385	314	444	394	347	316

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09
フランス国内リテール・バンキング(フランス国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)								
営業収益	1,456	1,454	1,415	1,392	1,471	1,462	1,447	1,421
営業費用および減価償却費	-945	-955	-984	-984	-942	-952	-1,011	-1,016
営業総利益	511	499	431	408	529	510	436	405
リスク費用	-29	-37	-40	-97	-89	-130	-110	-122
営業利益	482	462	391	311	440	380	326	283
営業外損益	0	1	-1	1	0	0	0	1
税引前利益	482	463	390	312	440	380	326	284

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09
(単位：百万ユーロ)								
BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む)								
営業収益	680	685	710	725	715	721	737	750
営業費用および減価償却費	-417	-430	-432	-478	-416	-431	-427	-472
営業総利益	263	255	278	247	299	290	310	278
リスク費用	-84	-66	-114	-147	-107	-144	-173	-205
営業利益	179	189	164	100	192	146	137	73
営業外損益	0	1	0	0	0	1	0	-1
税引前利益	179	190	164	100	192	147	137	72
資産運用および証券管理事業帰属利益	-2	-3	0	0	-1	-2	-2	-3
BNL bc の税引前利益	177	187	164	100	191	145	135	69
BNL バンカ・コメルシアーレ(イタリア国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)								
営業収益	674	677	705	719	710	714	730	743
営業費用および減価償却費	-413	-425	-427	-472	-412	-426	-422	-468
営業総利益	261	252	278	247	298	288	308	275
リスク費用	-84	-66	-114	-147	-107	-144	-173	-205
営業利益	177	186	164	100	191	144	135	70
営業外損益	0	1	0	0	0	1	0	-1
税引前利益	177	187	164	100	191	145	135	69
BNP パリバ・フォルティス*								
営業収益						1,441	2,233	1,618
営業費用および減価償却費						-693	-1,290	-1,164
営業総利益						748	943	454
リスク費用						-295	-330	-228
営業利益						453	613	226
営業外損益						21	-38	85
税引前利益						474	575	311
法人税						-104	-175	-99
少数株主損益						-109	-123	-42
株主帰属当期純利益						261	277	170
バンクウエスト								
営業収益	509	485	433	600	558	544	542	494
営業費用および減価償却費	-261	-247	-263	-299	-309	-316	-269	-275
営業総利益	248	238	170	301	249	228	273	219
リスク費用	-101	-123	-121	-283	-279	-299	-342	-275
営業利益	147	115	49	18	-30	-71	-69	-56
営業外損益	4	0	1	-1	1	1	0	1
税引前利益	151	115	50	17	-29	-70	-69	-55
パーソナル・ファイナンス								
営業収益	912	944	968	968	1,045	1,063	1,076	1,118
営業費用および減価償却費	-503	-517	-518	-563	-521	-515	-489	-546
営業総利益	409	427	450	405	524	548	587	572
リスク費用	-230	-274	-330	-384	-421	-461	-501	-519
営業利益	179	153	120	21	103	87	86	53
関連会社損益	21	17	18	28	12	17	12	11
その他の営業外項目	0	0	-1	110	1	26	-1	5
税引前利益	200	170	137	159	116	130	97	69

* 参考情報：2009年度第2四半期は、買収後の5月12日から6月30日までの期間を表している。

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09
(単位：百万ユーロ)								
エマージング・リテール・バンキング								
営業収益	403	440	495	558	475	444	404	412
営業費用および減価償却費	-262	-276	-289	-319	-279	-284	-268	-274
営業総利益	141	164	206	239	196	160	136	138
リスク費用	-36	-22	-43	-276	-162	-195	-219	-212
営業利益	105	142	163	-37	34	-35	-83	-74
関連会社損益	3	5	5	1	6	-5	4	4
その他の営業外項目	111	0	40	-4	0	1	0	0
税引前利益	219	147	208	-40	40	-39	-79	-70
エクイップメント・ソリューション								
営業収益	284	284	274	225	212	259	292	324
営業費用および減価償却費	-176	-182	-179	-179	-173	-178	-179	-177
営業総利益	108	102	95	46	39	81	113	147
リスク費用	-16	-52	-39	-48	-51	-43	-62	-48
営業利益	92	50	56	-2	-12	38	51	99
関連会社損益	-3	-1	0	-11	-4	-3	4	0
その他の営業外項目	0	0	0	-1	0	0	0	-1
税引前利益	89	49	56	-14	-16	35	55	98
資産運用および証券管理								
営業収益	1,263	1,396	1,205	1,071	1,147	1,207	1,207	1,207
営業費用および減価償却費	-845	-867	-855	-856	-820	-845	-852	-883
営業総利益	418	529	350	215	327	362	355	324
リスク費用	4	-4	-206	-1	-13	-23	13	-4
営業利益	422	525	144	214	314	339	368	320
関連会社損益	8	11	-8	-3	-8	6	5	-16
その他の営業外項目	0	0	-2	-1	-4	-26	-1	-7
税引前利益	430	536	134	210	302	319	372	297
資産管理(富裕層向け資産運用業務)								
営業収益	600	662	568	543	548	607	622	607
営業費用および減価償却費	-440	-448	-431	-436	-418	-430	-438	-459
営業総利益	160	214	137	107	130	177	184	148
リスク費用	2	0	-10	-16	-4	-23	-7	-4
営業利益	162	214	127	91	126	154	177	144
関連会社損益	0	3	1	0	-2	2	-4	-15
その他の営業外項目	0	0	0	1	-4	0	-1	-8
税引前利益	162	217	128	92	120	156	172	121
保険								
営業収益	353	392	368	205	299	303	336	345
営業費用および減価償却費	-173	-181	-182	-175	-170	-181	-182	-192
営業総利益	180	211	186	30	129	122	154	153
リスク費用	2	-4	-41	-2	-8	-1	17	0
営業利益	182	207	145	28	121	121	171	153
関連会社損益	8	8	-10	-3	-6	4	8	-1
その他の営業外項目	0	0	-2	-1	0	-26	0	1
税引前利益	190	215	133	24	115	99	179	153

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09
(単位：百万ユーロ)								
証券管理								
営業収益	310	342	269	323	300	297	249	255
営業費用および減価償却費	-232	-238	-242	-245	-232	-234	-232	-232
営業総利益	78	104	27	78	68	63	17	23
リスク費用	0	0	-155	17	-1	1	3	0
営業利益	78	104	-128	95	67	64	20	23
営業外損益	0	0	1	-1	0	0	1	0
税引前利益	78	104	-127	94	67	64	21	23
コーポレートバンキング・投資銀行								
営業収益	1,311	1,852	2,058	-248	3,696	3,351	2,934	2,213
営業費用および減価償却費	-952	-1,256	-989	-514	-1,770	-1,467	-1,122	-1,094
営業総利益	359	596	1,069	-762	1,926	1,884	1,812	1,119
リスク費用	-54	-86	-1,032	-1,305	-697	-744	-572	-282
営業利益	305	510	37	-2,067	1,229	1,140	1,240	837
関連会社損益	1	0	0	0	-2	0	2	0
その他の営業外項目	12	13	1	-1	2	5	-6	-3
税引前利益	318	523	38	-2,068	1,229	1,145	1,236	834
アドバイザリーおよびキャピタル・マーケット								
営業収益	708	1,139	1,368	-1,149	2,920	2,641	2,171	1,354
うち株式会社およびアドバイザリー	316	750	492	-1,899	33	710	620	468
うちフィクスト・インカム	392	389	876	750	2,887	1,931	1,551	886
営業費用および減価償却費	-662	-955	-695	-295	-1,485	-1,178	-833	-842
営業総利益	46	184	673	-1,444	1,435	1,463	1,338	512
リスク費用	-94	-43	-909	-1,076	-277	-297	-268	-92
営業利益	-48	141	-236	-2,520	1,158	1,166	1,070	420
関連会社損益	1	0	0	0	-2	0	2	0
その他の営業外項目	12	12	1	0	2	5	-6	-3
税引前利益	-35	153	-235	-2,520	1,158	1,171	1,066	417
ファイナンス業務								
営業収益	603	713	690	901	776	710	763	859
営業費用および減価償却費	-290	-301	-294	-219	-285	-289	-289	-252
営業総利益	313	412	396	682	491	421	474	607
リスク費用	40	-43	-123	-229	-420	-447	-304	-190
営業利益	353	369	273	453	71	-26	170	417
営業外損益	0	1	0	-1	0	0	0	0
税引前利益	353	370	273	452	71	-26	170	417
コーポレート・センター(BNPパリバ・キャピタルおよびクレピエールを含む)								
営業収益	583	-15	61	-435	163	-492	-202	508
うちBNPパリバ・キャピタル	135	44	3	-30	115	-74	-39	-23
営業費用および減価償却費	-248	-127	-131	-122	-122	-142	-135	-240
うちBNL事業再構築費用	-146	-20	-19	-54	-5	0	0	0
うちフォルティス事業再構築費用	0	0	0	0	0	-20	-33	-115
営業総利益	335	-142	-70	-557	41	-634	-337	268
リスク費用	0	2	-67	-11	-7	-11	-4	-3
営業利益	335	-140	-137	-568	34	-645	-341	265
関連会社損益	55	29	106	-67	-20	21	39	33
その他の営業外項目	218	-4	-3	-9	3	275	99	-40
税引前利益	608	-115	-34	-644	17	-349	-203	258

目次

グループ帰属純利益が 58 億ユーロとなり、高い利益創出力を証明.....	2
極めて堅調な業績.....	2
リテール・バンキング.....	3
資産運用および証券管理事業部門.....	9
コーポレートバンキング・投資銀行(CIB)事業部門.....	10
BNP パリバ・フォルティス.....	12
ソルベンシーを強化.....	13
連結損益計算書.....	15
2009 年度第 4 四半期のコア事業の業績.....	16
2009 年度のコア事業の業績.....	17
四半期決算.....	18
目次.....	22

本表示物に含まれる数値は、未監査の数値です。

本表示物には、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本表示物に含まれる予測的な記述は本表示物発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新しい情報や将来の事象によって予測的な記述を公に修正もしくはアップデートする責任を負いません。

本表示物に含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、個別に真実たることを確認したものではなく、ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその正当性、精密性、完全性または正確性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともいかなる落ち度に対しても責任を負わず、また本表示物あるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本表示物やここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。